

全国過疎問題シンポジウム2023inとやま 第3分科会


地域の持続的な自治に向けて 集落支援員に期待される役割

“自治の空白”対策と地域の下支え

田口 太郎 / 徳島大学総合科学部

taguchi@tokushima-u.ac.jp

<http://www.taguchi-studio.net>

 [taro_taguchi](#)

自己紹介

田口太郎

博士（工学）

徳島大学総合科学部 教授（地域計画学研究室）



- 1976年 神奈川県茅ヶ崎市出身（47歳）
- 1999年 早稲田大学理工学部建築学科 卒業
- 2001年 早稲田大学大学院理工学研究科 修了（後藤春彦研究室）
- 2002年 小田原市政策総合研究所 特定研究員
- 2004年 早稲田大学理工学部建築学科 助手
- 2006年 新潟工科大学工学部建築学科 准教授
- 2011年 徳島大学総合科学部 准教授
- 2015年 徳島県佐那河内村に移住
- 2023年 徳島大学総合科学部 教授

専門：都市計画／まちづくり／市民まちづくりの自律化に向けたプロセスデザイン

2007年中越沖地震で被災した中心商店街の復興支援を行い市民による復興ビジョンを取りまとめ、事業化までを支援。2004年中越地震被災地で活動する「地域復興支援員」、現在は全国の「地域おこし協力隊」などの人材育成を担当。総務省地域力創造アドバイザー、総務省「これからの移住・交流施策のあり方に関する検討会」構成員、内閣府「地方創生推進交付金のあり方に関する検討委員会」委員、他。

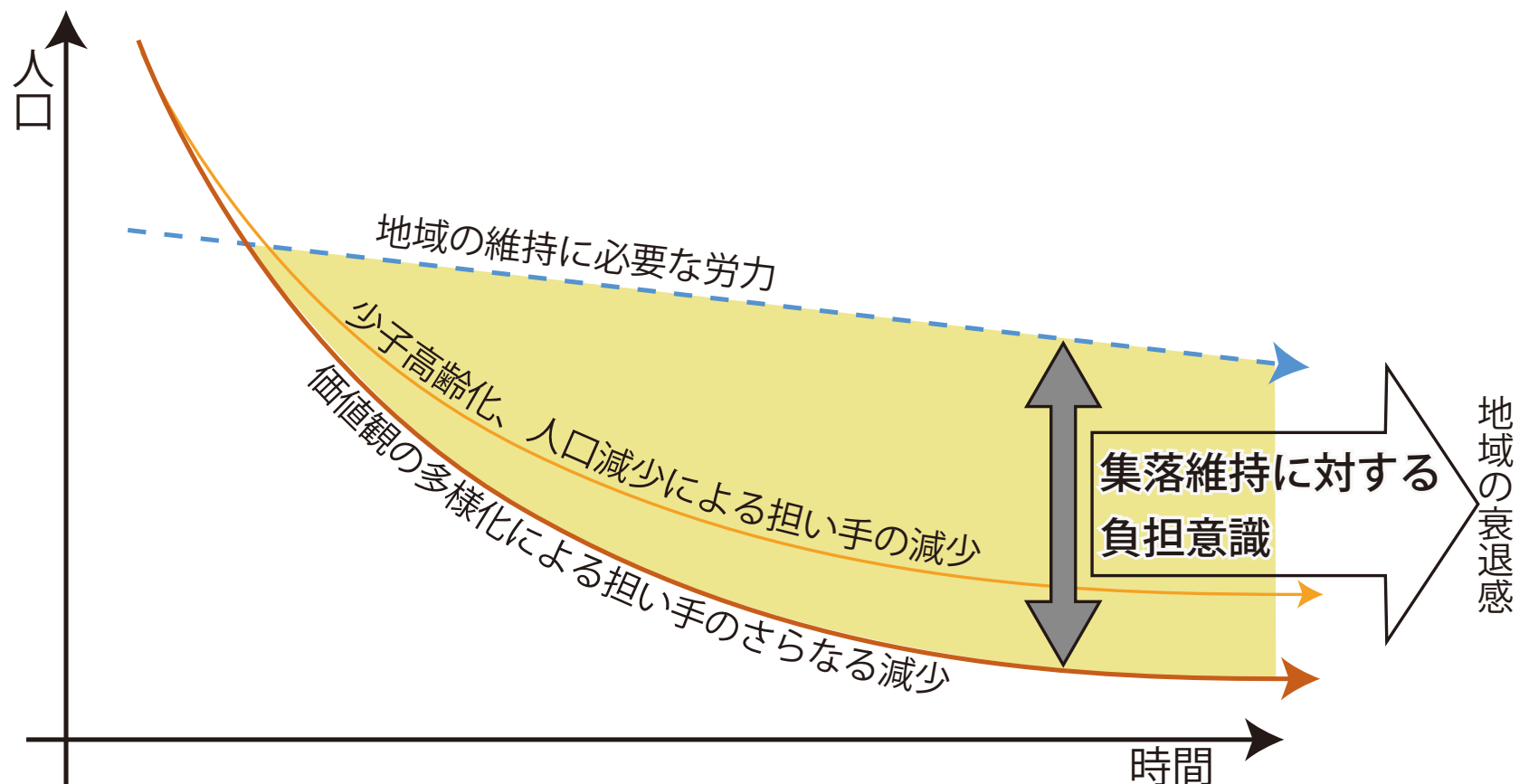
佐那河内村消防団第二分団副分団長、2018年度佐那河内村営沢常会常会長

共著：「まちづくりオーラル・ヒストリー」（水曜社2005）「リジリエント・シティ」（クリエイツかもがわ2014）「中越地震から3800日」（ぎょうせい2015）「住み継がれる集落をつくる」（学芸出版社2017）「地域おこし協力隊 10年の挑戦」（農文協2019）、「少人数で生き抜く地域をつくる」（学芸出版社2023）、他

地域づくりの課題／「地域の衰退感」とは？

必要な自治力と担い手数とのギャップ

- ◎ 財政健全化に向けた行政職員の減少、行政サービスの減少
- ◎ 過疎高齢化による住民自治の限界



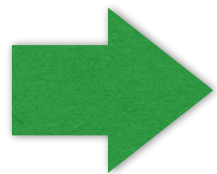
「地域づくり」は何を目指すのか？

「地域づくり」「まちづくり」とは何か？

- ◎ 「一定の範囲の地域に対して、現状の問題点を克服すべく、状況に変化を与えようとする取り組み」

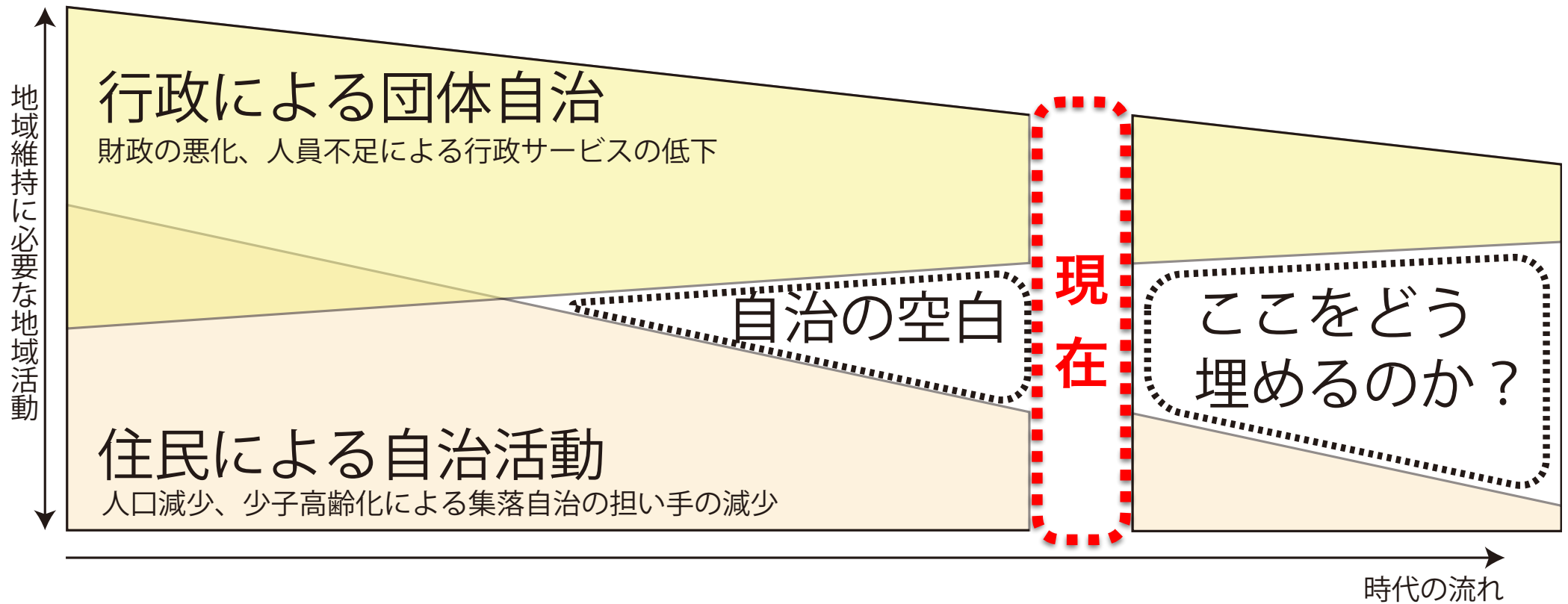
「地域づくり」「まちづくり」の主体は誰か？

- ◎ 多様化する価値観、広域化する基礎自治体
- ◎ 悪化する行財政
- ◎ 「取り組み」の主体を行政から市民へ



**地域の主体性、戦略性を育みながら
地域の「自律性」を高める
→地域の「自治力の再生」**

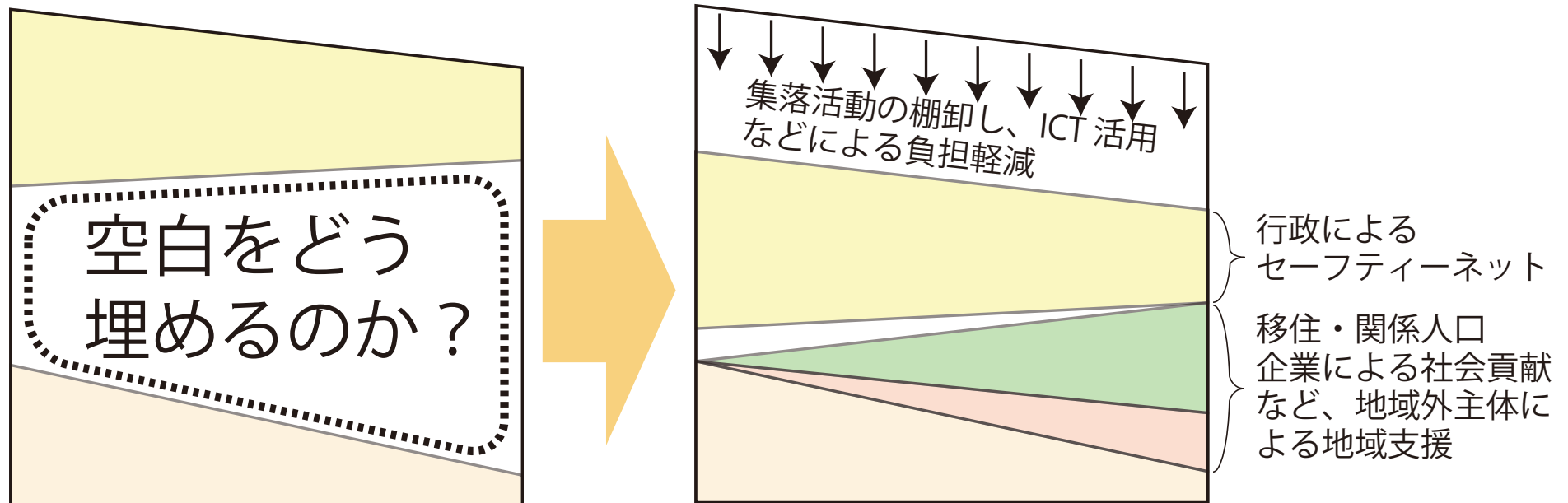
地域における「自治の空白」



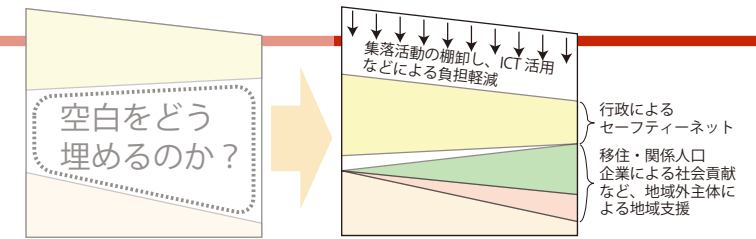
「自治の空白」に対する取組みの必要

「自治の空白」を各方面から埋めていく必要

- 行政はセーフティーネット確保
- 住民活動は縮小
- 新たな担い手の獲得
- 活動の効率化の検討



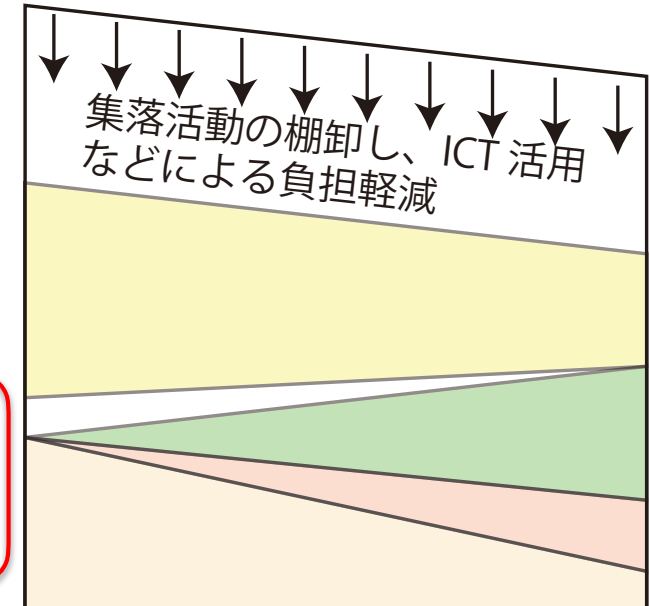
「自治の空白」を埋める



集落活動の棚卸し、ICT技術の活用による負担軽減

- ◎ 地域内のうちの適正管理
- ◎ 管理空間の戦略的縮小
- ◎ 粗放的土地管理の検討

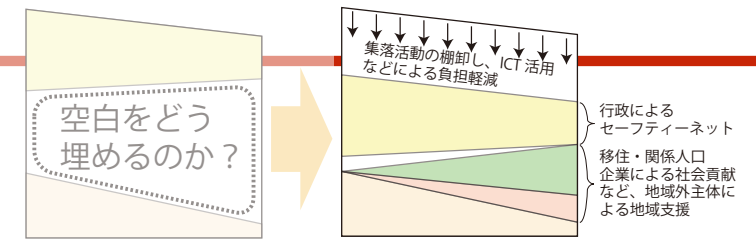
- ◎ 日常生活におけるICT技術の活用
- ◎ 生活実感を損なわないICT技術活用



地域としての縮小戦略
生活実感を維持した技術活用

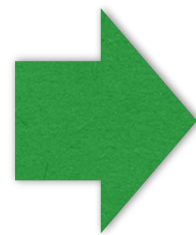
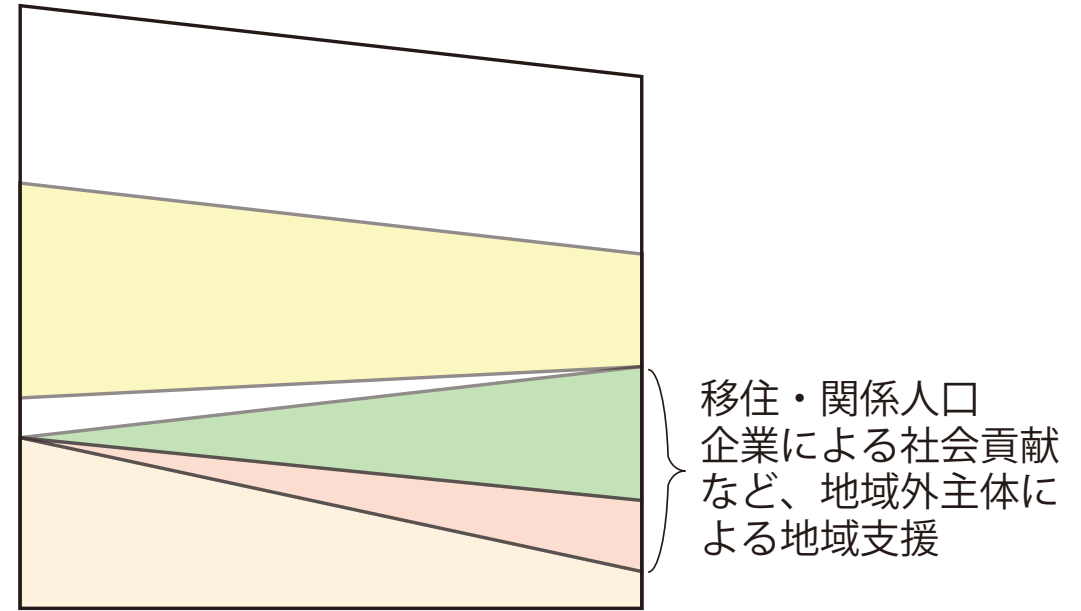
DX時代におけるICTの導入は地域間で開きがあり、
将来的に地域間格差が広がる可能性

「自治の空白」を埋める



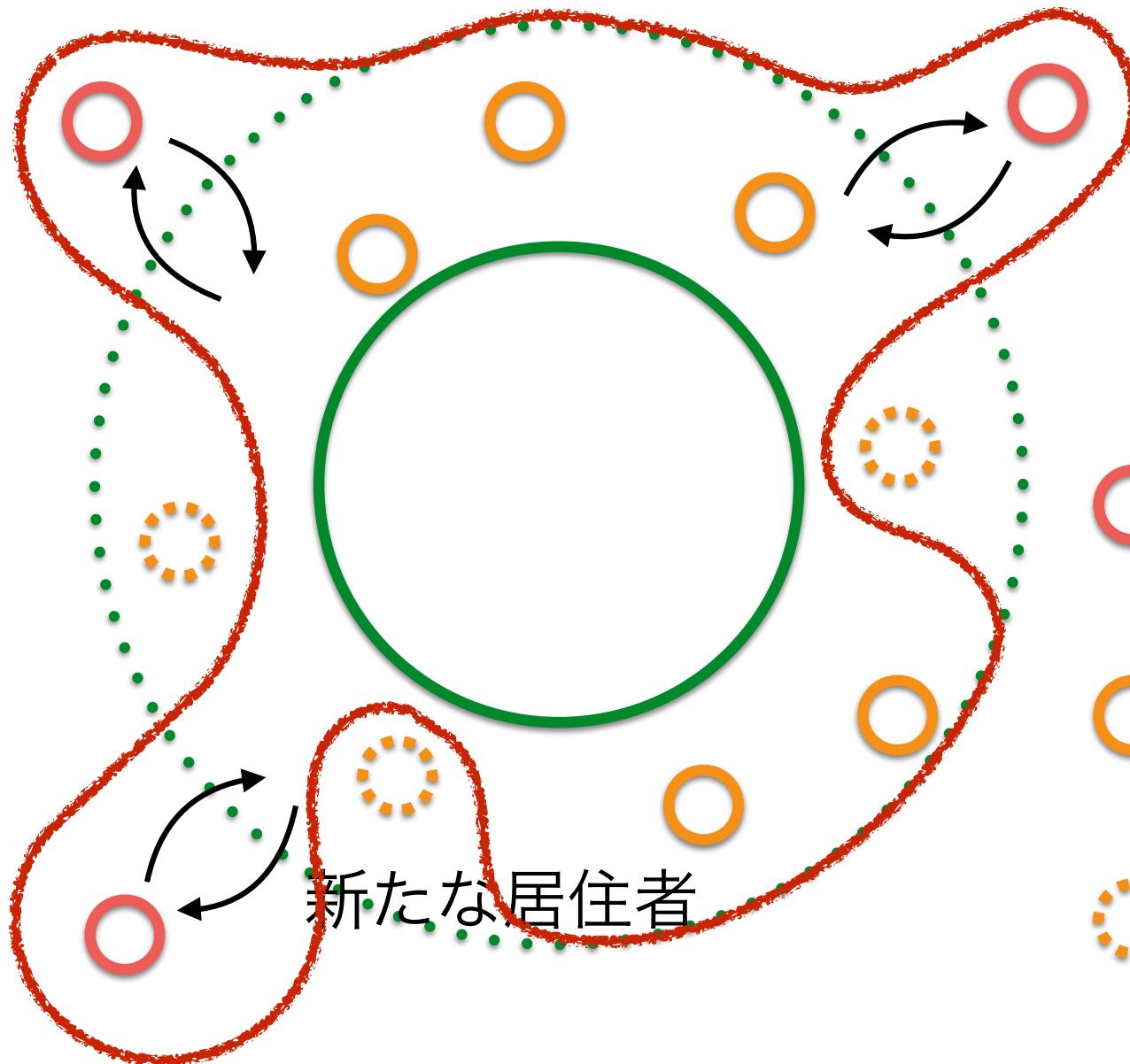
新たな担い手の獲得

- ◎ 地域と協働してくれる移住者の獲得
- ◎ 地域に貢献してくれる企業の獲得
- ◎ 地域を高めてくれる「関係人口」の獲得






単純に外部人材を呼べば良い
というものではない
地域の自治力向上に寄与する
外部主体の必要

新しい担い手はどこにいるのか？



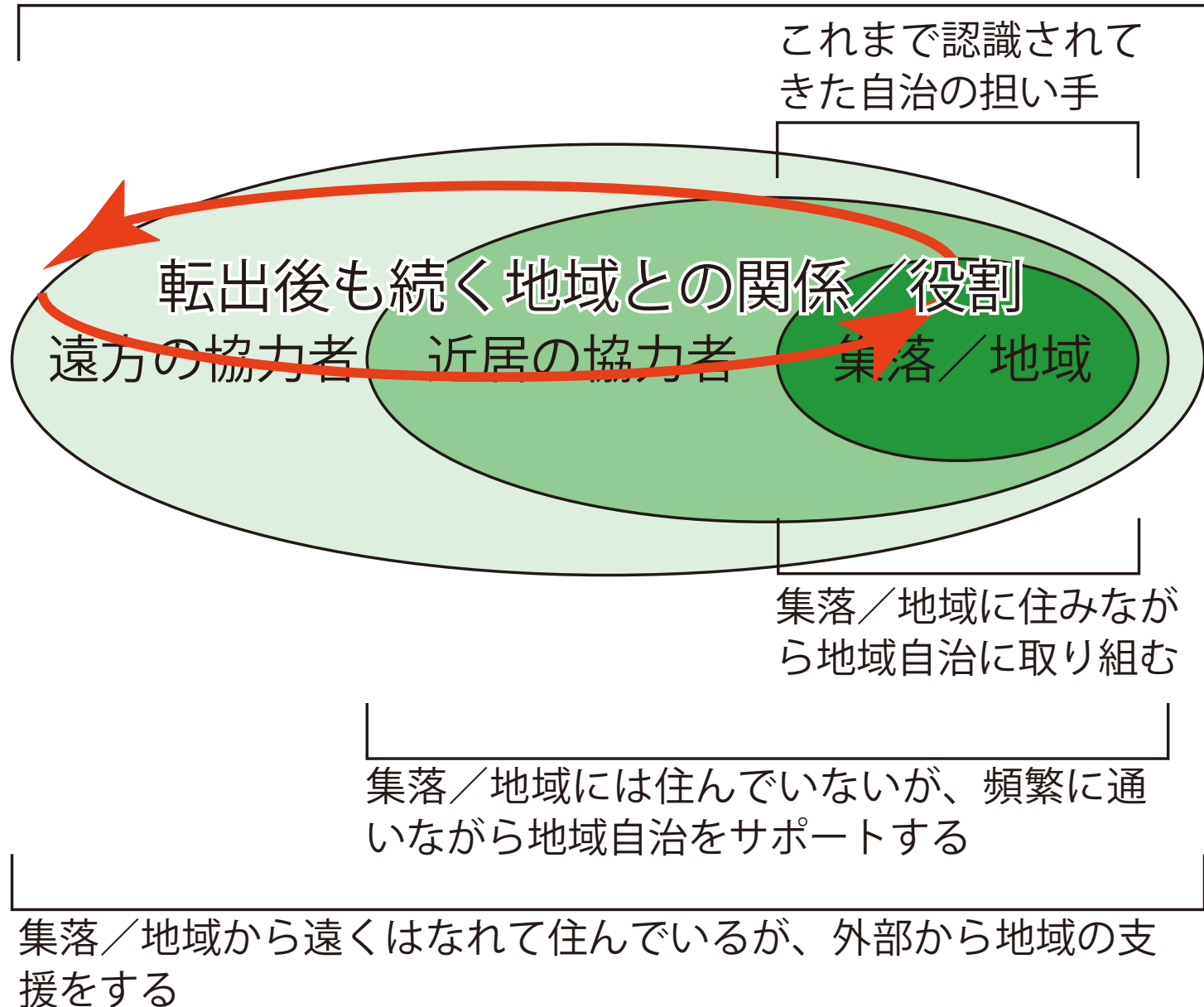
これからの
地域の担い手

-  地域にいないが、
地域に関わる人
-  地域とよい関係を
築く居住者
-  地域とよい関係を
築かない居住者

新たな居住者

地域自治の担い手の多様化

これから意識すべき自治の担い手



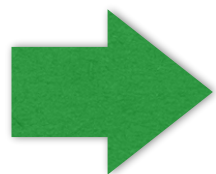
自治のカタチの再設計

地域づくりとは、地域の「自治力」を高める取り組み

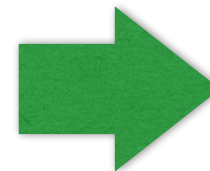
- ◎ かつては集落自治により、地域社会は自律的に運営されてきた
- ◎ 戦後の民主化／政府の拡大、によって役割が変わった
- ◎ 人口が減少し、行財政が悪化し、価値観が多様化する中で、地域それぞれが再び「自治力」を取り戻す必要がある

自治力は何によって規定されるか

- ◎ 企画力
 - 地域の状況に応じて必要な手立てを企画立案する
- ◎ 実行力
 - 立案した手立てを実行する



しかし、この双方とも
衰退させている
少子高齢化・人口減少



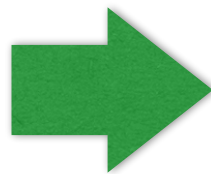
地域の外から
協力者を得る必要

自治のカタチの再設計

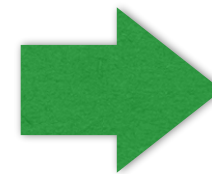
人口減少しつつも、行政や外部の協力者と上手に付き合っていく“知恵”が必要

- ◎ 「協働のまちづくり」は重要。だが、地域に“知恵”がなければ言いなりになってしまう
- ◎ 外部との協力、都市部との協力は必要。だが、地域に“知恵”がなければ消費されていしまう

住民が主体的に“知恵を絞る”ことで有益な「協働のまちづくり」が実現



地域の問題をわかりやすく理解&共有する



地域を主語に行政や外部との連携を図る

「ネットワーク型自治」の可能性

地域をハブとした人的ネットワークを拡大する

- ◎ 「地域住民」「ローカルプライド」を中心に据えた上で、信頼のネットワークを構築する
- ◎ 信頼のネットワークを的確に運用することで、地域に必要な力を必要なタイミングで導入する
- ◎ 「定住者」中心から、「ローカルプライド」中心の地域づくりへの転換

多様なネットワークをつなぎとめる地域

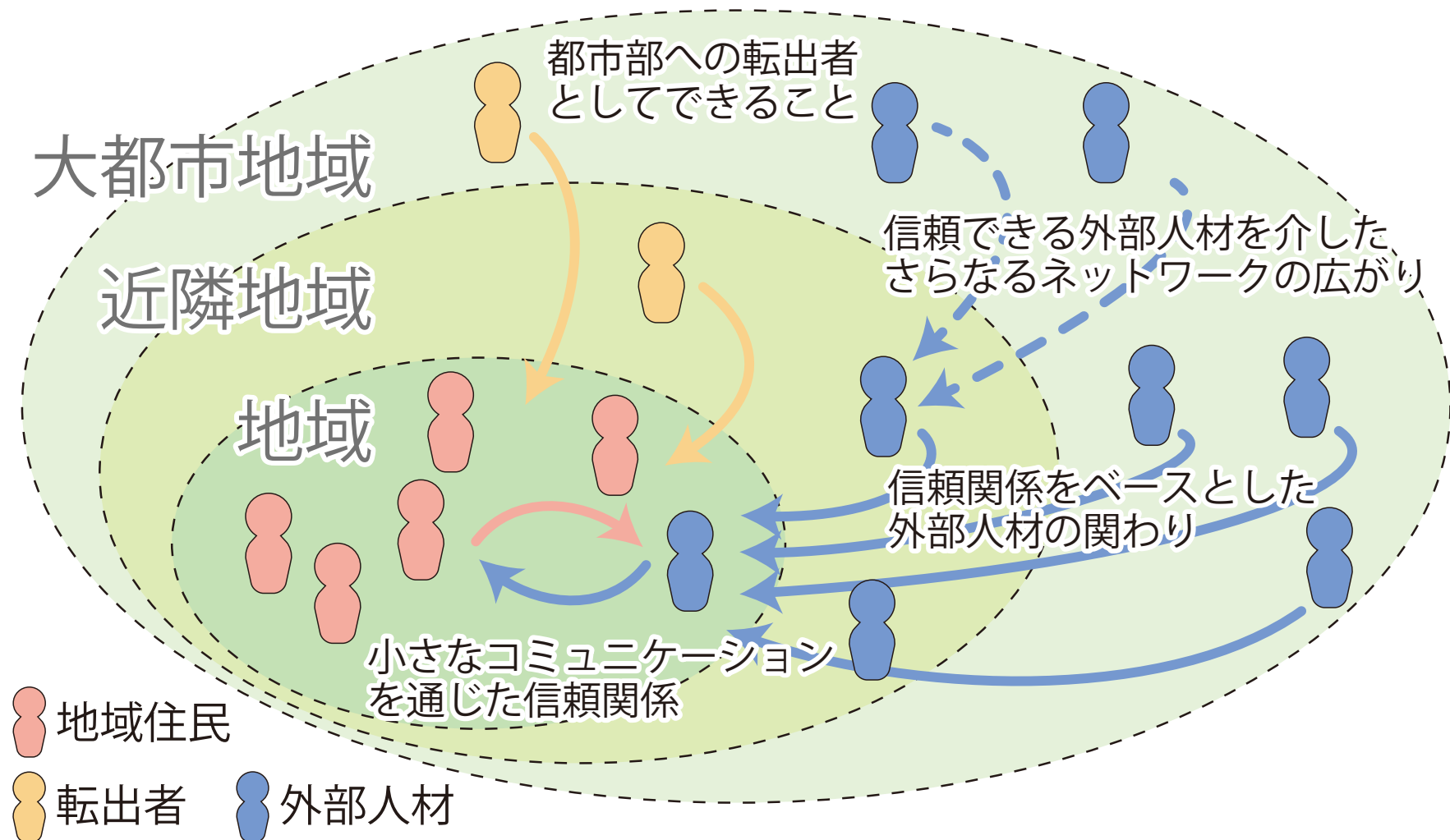
- ◎ 多様なネットワークをつなぎとめる魅力を地域がもてるか？
- ◎ 前向きな住民が外部人材を引き寄せる

信頼に基づく
「少人口／多人数社会」
の実現

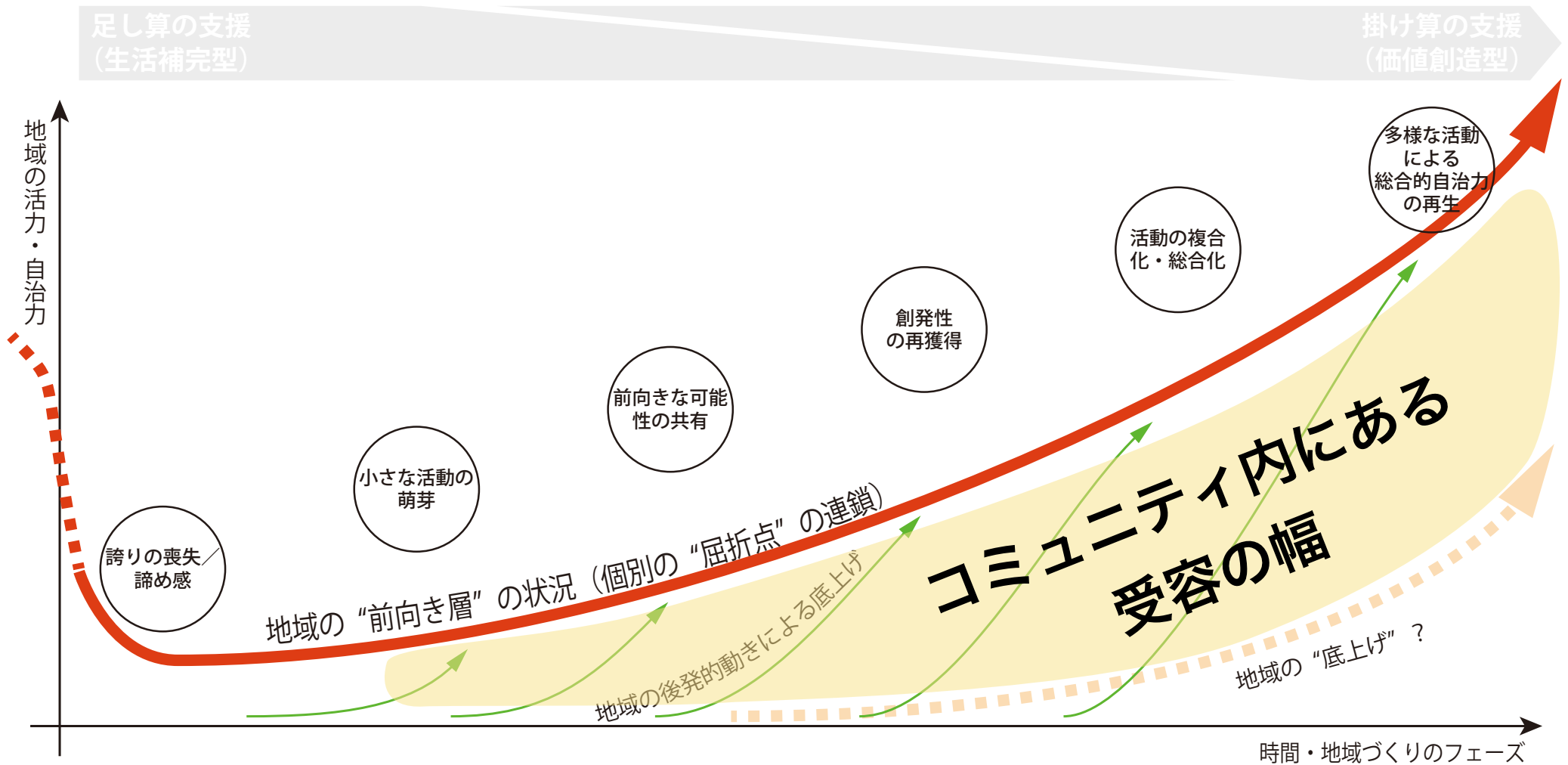


「ネットワーク型自治」の可能性

- ◎ 「信頼によるつながり」の広がり



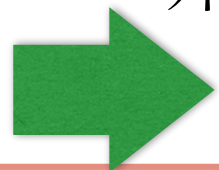
コミュニティの発展の“受容の幅”



地域づくりはどう進めるのか？

「自立性」ではなく「自律性」

- ◎ 地域が独立的に運営されていく、というのは社会状況からして非現実的である
- ◎ これからの地域づくりは地域住民のみならず、様々な関係者が連携しながら持続的に取組んでいく必要がある
 - 転出家族／親戚、ファン、行政、NPO、民間企業、etc...
- ◎ 様々な関係者（＝主体）が関わる中で、地域住民が意思決定の中心をなす必要がある
 - 外部の意向に地域が振り回されてはいけない
 - 地域が無自覚的に外部に依存しては持続性は確保できない
- ◎ 「地域の自律性」とは「地域自らの意思決定の下で、地域内外の様々な主体と連携を図りながら地域づくりを進める」



多様なネットワークの戦略的利用

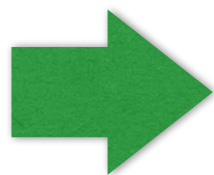
自治のカタチの再設計

地域づくりとは、地域の「自治力」を高める取り組み

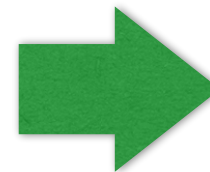
- ◎ かつては集落自治により、地域社会は自律的に運営されてきた
- ◎ 戦後の民主化／政府の拡大、によって役割が変わった
- ◎ 人口が減少し、行財政が悪化し、価値観が多様化する中で、地域それぞれが再び「自治力」を取り戻す必要がある

自治力は何によって規定されるか

- ◎ 企画力
 - 地域の状況に応じて必要な手立てを企画立案する
- ◎ 実行力
 - 立案した手立てを実行する



しかし、この双方とも
衰退させている
少子高齢化・人口減少



地域の外から
協力者を得る必要

持続的な自治に向けた集落支援員の役割

地域を俯瞰的にみる

- ◎ 地域の置かれている状況の確認
- ◎ 状況に応じた取組のデザイン

地域の底上げ活動

- ◎ 攻め取組と守り取組のバランスをどう取るか？
- ◎ 全体のバランスをどう取るか？

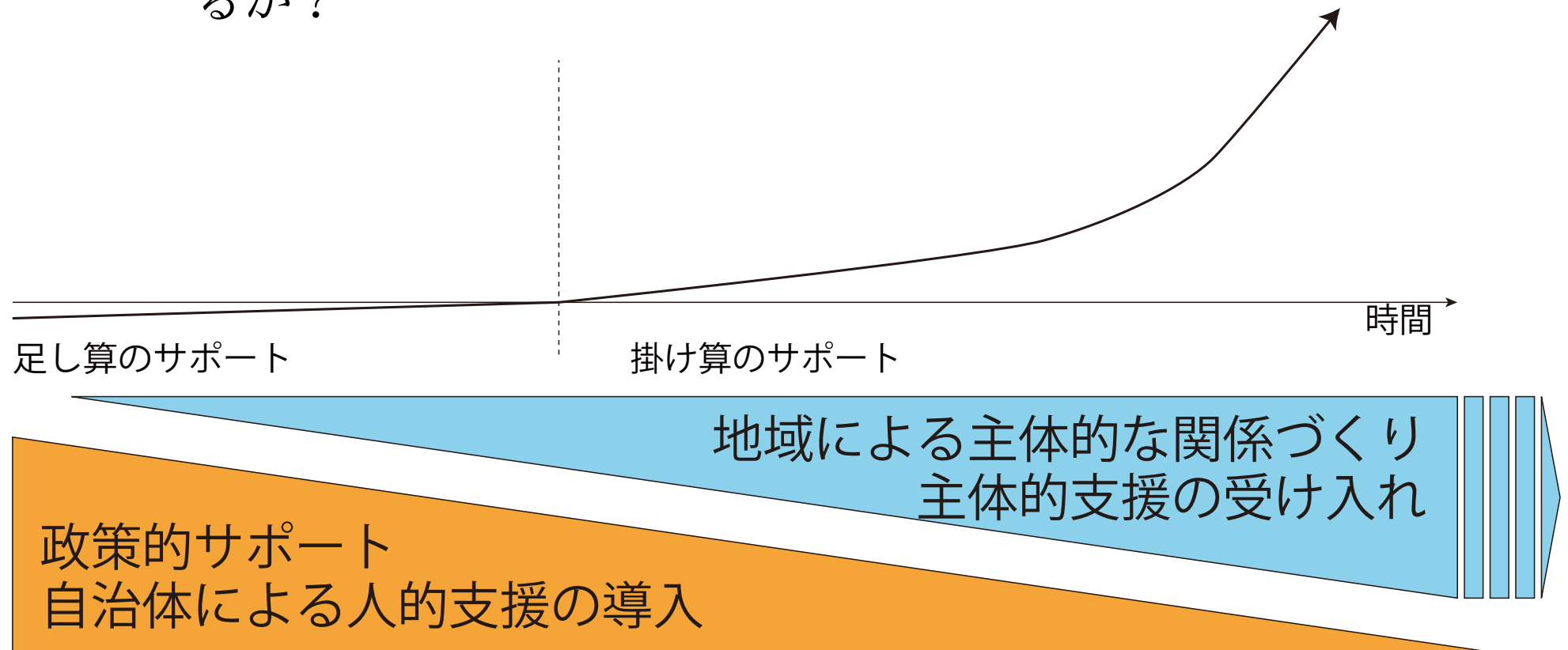
日が当たっていない人や地域への目配り

- ◎ 「先進的」な取組から漏れる地域や人びとのフォロー

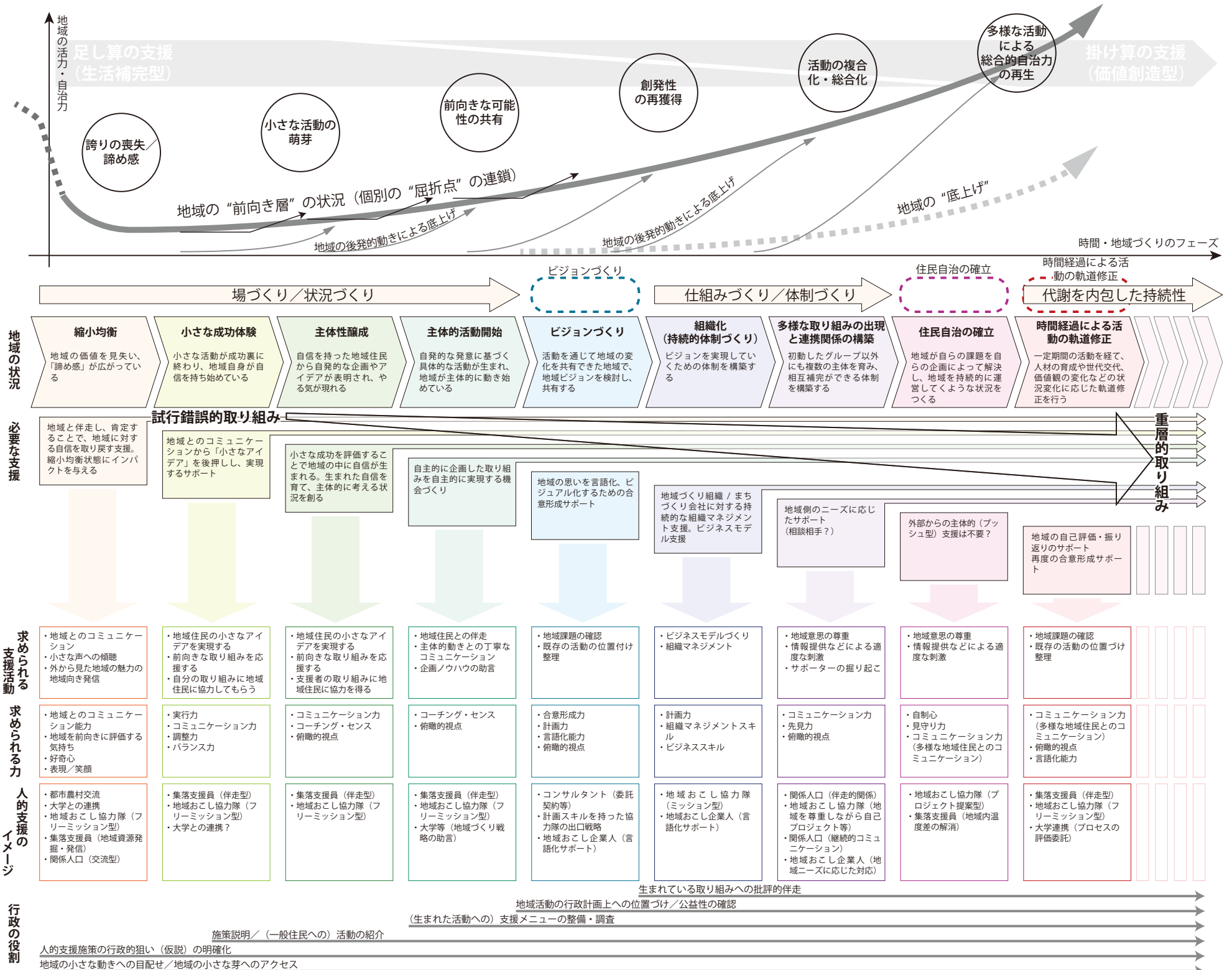
“引き際のデザイン”をどうするか？

地域への支援は恒常的施策でないとする…

- ◎ いかに主導的役割を外部支援から地域主体に切り替えるか？
- ◎ 外部人材主導の地域づくりから内部の主体性醸成を以下に図るか？



地域づくりのフェーズと外部支援





in
と
や
ま
ま
ジ
ン
ポ
ジ
ウ
ム
2023

全国過疎問題

岩国市 市民協働部

岩国市

面積：873.67km

人口：127,310人

世帯数：65,153世帯

岩国市は本州最西端の山口県の東部に位置し、広島県、島根県の両県に隣接しています。

山間部は雪深い中国山地にあり、沿岸部は穏やかな瀬戸内海に面しています。



岩国市の特徴

1. コンビナートのまち

コンビナート企業や製造業が集積した工業都市



2. 基地のまち

米海兵隊岩国航空基地

軍人軍属 10,000人超 (住基登録外)



3. 観光のまち 城下町

日本三名橋「錦帯橋」

城下町 清流 しろへび 瀬戸内海国立公園



地域づくりの困難性

広大な行政区域

面積の9割超が山間地

中心市街地まで70km-2時間の集落

港から1時間の離島 有人3島

高齢化率35.0%

全国的にも高い山口県の高齢化率の平均値以上

点在する小規模高齢化集落

害獣 耕作放棄地 空き家

多様性のあるまちの多様な課題

過疎問題 基地問題 工業地帯 市街地の空洞化

ライフライン 自然災害（海・川・山）



集落の持続的発展

中山間地域の集落には
現代社会における困難かつ多様な課題を
克服することが期待される
多くの強みと可能性があります



集落への支援 本市の推進体制

本庁 中山間地域振興室

総合支所 地域振興課

中山間地域振興基本計画

- ・ 条例第8条：市長は・・・中山間地域の振興に関する基本的な計画を策定しなければならない
- ・ 中山間地域の振興のための施策の方向性を示す

中山間振興施策基本条例

H25年 議会提案による制定

- ・ 定例議会にて実施状況の報告・公表（毎年）



集落支援員 の活動



本市 集落支援員の特徴

専任

- ・ H22 集落支援事業開始
- ・ 会計年度任用職員として **行政の所管部署に配置**

採用方法

- ・ 公募による
- ・ **地元にとらえず採用** 現状：総て集落外（市外・移住者）
：外部人材の活用としての位置付け

令和5年度時点 任用者数

集落支援員 7名 : 新たなコミュニティづくりの支援 【追加募集中】
地域づくり相談員 **2名** : **特命ミッション付加**

集落支援員のサポートと育成

情報交換会

地域情報の交換 事例報告 行政情報学習会 市への要望 **不満を吐き出す**

全市 集落支援員情報交換会
全市 地域おこし協力隊との合同意見交換会
職域ごと 業務ミーティング（定例化）

市民活動支援センターとの連携

相互の情報交換会 研修会

- ・ 集落支援員は ⇒ ワークショップや協働の組織作りのノウハウ
- ・ センターは ⇒ テーマ型市民活動の手薄な中山間地域へのアプローチ

本庁所管部署による巡回や個別面談

ミッションの進行状況確認 所属部署や集落等との関係調整
目標の修正調整・・・**やる気の醸成**

集落支援員による集落支援の実際

集落の声を集める活動

集落点検・アンケート

まずは 集落の人たちに 知ってもらい、ラポール形成 を目指す

- ・ 職場ミーティング - 支援員からの情報と行政情報とを相互共有
- ・ 住民ニーズの把握 - 地域生活の困り感～地域づくりの意向把握

※個別支援案件は、速やかに所管へ報告し連携

ワークショップ

新たなコミュニティの場

夢プランの策定

持続的な地域づくりの取組み案 生活・賑わい・環境

※整理 : 集落支援員の役割 集落の役割 行政の役割

協働による計画の遂行

本市には、地域づくりに関して、自由度が高く使い勝手の良い事業予算がある

【事例 1】

中国山地にある集落

世帯数 92世帯

人口 141人

高齢化率 69.5%

○中心市街地から約30km

○行政の窓口まで 7km

○最寄りの商店まで 5km

○最寄りの病院まで 8km

持続的な発展を目指して集落と行政との協働が上手く機能している事例

対象集落との事前調整 支援に関する集落の意向把握

集落点検・アンケート調査の実施

報告会を開催し、現状を集落と行政とで共通認識する

話し合い活動を継続して行い、集落における新たな「集いの場」を形成

集落の賑わい創出を目指し ワークショップを実施

「地区夢プラン」を策定 「集落の持続的な発展のための 賑わいの創出」を目指す

成果の指標となる3つの目標を定め、協働による地域づくりをスタート

成果の指標 : 交流拠点施設での地域産品の販売額

: 定住人口の増加・・・のための関係人口の拡大

: 地域産物の販売促進活動の回数

ワークショップ・夢プラン作成会議風景



- 平成27年8月～12月
→集落点検・個別アンケート調査
- 平成28年3月
→アンケート報告会を開催



- 平成28年度
→夢プラン会議を実施
- 平成29年3月
→「下畑地区夢プラン」完成



⇒ 最初の壁 地域活動の拠点となる施設が不可欠・・・既存の施設は使えないという問題

新しい活動拠点施設 オープン！（令和2年3月）



定住人口の増加に向けた移住応援

岩国市 空き家情報登録制度の活用

市の中山間地域にある利用可能な空き家を活用して、UJIターンによる移住定住の促進を図る事業
家財道具の処分やリフォーム費用の一部助成制度などがある



- 移住応援団の結成
- 空き家調査
- 空き家バンクへの登録
- 移住者への生活サポート
- 地域活動へのお誘い



せせらぎ朝市 オープン！（令和2年7月4日） キッチンせせらぎ オープン！（令和3年5月1日）



～交流館～



キッチンせせらぎ
毎週土曜日 9:00~11:00



地元産の野菜を
使用してるんです♪

地元産の旬の野菜を取り入れ、アイデアや工夫により週替わりに「和食・洋食・コーヒーセット」を提供中。

せせらぎ朝市
毎週土曜日 8:00~12:00



朝市活動を行うにあたり「あさいち部」を発足。
地元の農産物や手芸品を出品し、販売中。

新しい賑わい 多彩な催し 交流から関係へ



目標達成状況（令和2年7月から3年間）

	目標	実績	達成/未達
交流拠点施設での地域産物の販売額	1,843,200円	4,446,220円	達成
定住人口の増加 ・空き家バンクの登録 ・移住応援団結成 ・関係人口増加	2人	7人	達成
地域産物の販売促進活動の回数 ・朝市・キッチン・イベントの開催	408回	406回	ほぼ達成

活用した事業・財源等

活動拠点のリニューアル・廃校舎の解体・交流館新築

- ・農林水産省 農山漁村振興交付金

物販設備・キッチンの整備

- ・山口県 やまぐち元気生活圏活力創出事業補助金

活動支援・周辺整備・移住定住支援

- 市事業 独自予算
 - ・地域づくり支援事業※
 - ・地域活動団体支援事業※
 - ・夢プランスタートアップ事業
 - ・移住応援団結成～活動支援※
 - ・空き家情報登録制度

集落の変化

コロナ禍の克服

地域コミュニティ・集落間ネットワークの強化

関係人口の増加・賑わいの創出 ファン リピーター

営農意欲の向上・耕作放棄地の再活用

誇りを持てる故郷 里帰り

持続可能な地域づくり

【事例 2】 集落点検を通じて、伝統行事の負担軽減を模索している事例

少子高齢化 担い手不足 コロナ禍

価値観や行動形態の変化もあって、岐路に立つ地域行事

ある集落では、縮小開催していた伝統行事の復活を決めた

人口減少に加え 住民の行事への意識にも変化

担い手の負担は一層重くなり、これが集落における新たな課題となる

○ 集落点検等を通じて、準備段階からの負担軽減策を練る

△ 関わる人を増やすための広報、運営体制への支援

✕ 指定文化財のため、所作や負担の大きい仕様の変更は容易ではない

伝統を継承する、自慢できる故郷の宝・・・・・・・・・・・・・・・・

苦境にある 伝統行事継承の課題に 如何に対応して行くのか…？

若い集落支援員の challenge に
注目している事例でした



まとめ 集落支援員を任用するにあたり

集落支援員は professional ではない

planを実現させる仕組みや制度はあるのか

集落支援員の役割

行政の役割・組織の役割・職員の役割

集落の役割

**集落支援員 や 地域おこし協力隊を 行政事務の
補助員 や 現場作業員にしない**

前提：職員は協働の意義を具体的に認識すること

集落支援員を孤立化させないサポート体制とスキルアップの機会確保

ありがとうございました

ぜひ一度 いわくにへ お越しください



岩国市 市民協働部長 小玉

「鉱山文化を活かし、人が輝くまち 生野」

全国過疎問題シンポジウム2023 第3分科会

令和5年10月27日

いくの地域自治協議会 小島公明





朝来市

鳥取県
Tottori

京都府
Kyoto

朝来市
Asago City

令和2年国勢調査人口

28,989人

面積 402.98km²

岡山県
Okayama

兵庫県
Hyogo

平成17年4月に、朝来郡
の生野町・和田山町・山
東町・朝来町が合併し誕生。

香川県
Kagawa

和歌山県
Wakayama

地域自治協議会の概要

令和5年4月1日現在



	地区名	世帯数	人口	65歳以上	高齢化率(%)
旧生野町	いくの地域自治協議会	1,100	2,455	1,040	42.4%
	奥銀谷地域自治協議会	377	733	369	50.3%
旧和田山町	糸井地域自治協議会	1,042	2,523	979	38.8%
	大蔵地域自治協議会	1,319	3,016	1,033	34.3%
	和田山地区地域自治協議会	2,201	4,897	1,401	28.6%
	東河地区協議会	598	1,605	430	26.8%
	竹田地域自治協議会	1,204	2,863	1,067	37.3%
旧山東町	梁瀬地域自治協議会	1,305	3,074	981	31.9%
	粟鹿地域自治協議会	426	1,030	388	37.7%
	与布土地域自治協議会	489	1,114	477	42.8%
旧朝来町	朝来地域自治協議会	2,231	5,206	2,163	41.5%
	朝来市全体	12,292	28,516	10,328	36.2%

鉾山のまち 生野



明治元年(1868年) 日本初の官営鉾山
明治9年(1876)に完成

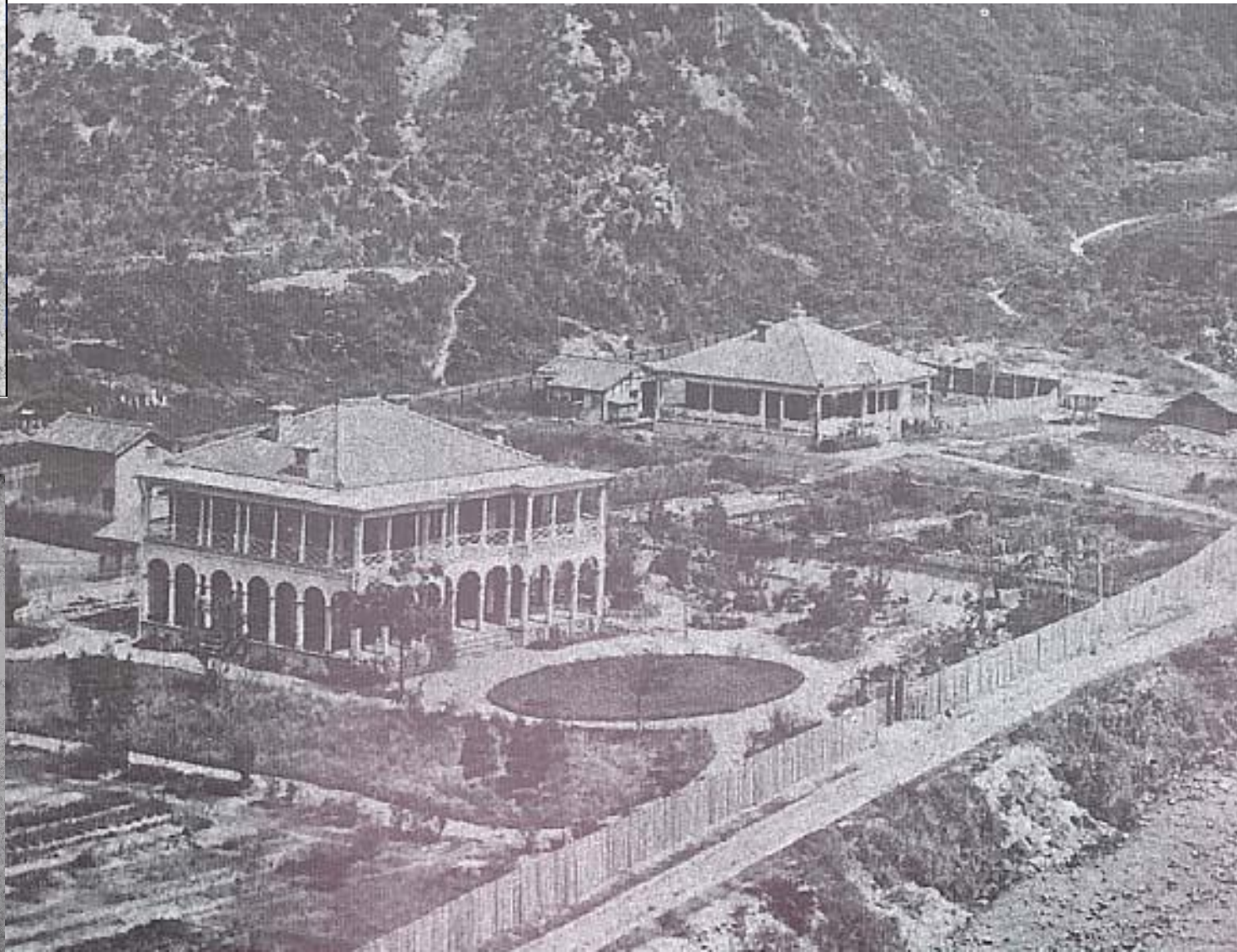
お雇い外国人コワニエ、ムーセの住居
1号館 2号館



お雇い外国人第1号
コワニエ



マリー



▲コアニエが住んでいた1号館(左)、ムーセ旧居(神子畑に移築)
明治5年建築

平成26年度

文化庁の「生野鉱山及び鉱山町の文化的景観」に選定



平成29年度 日本遺産認定

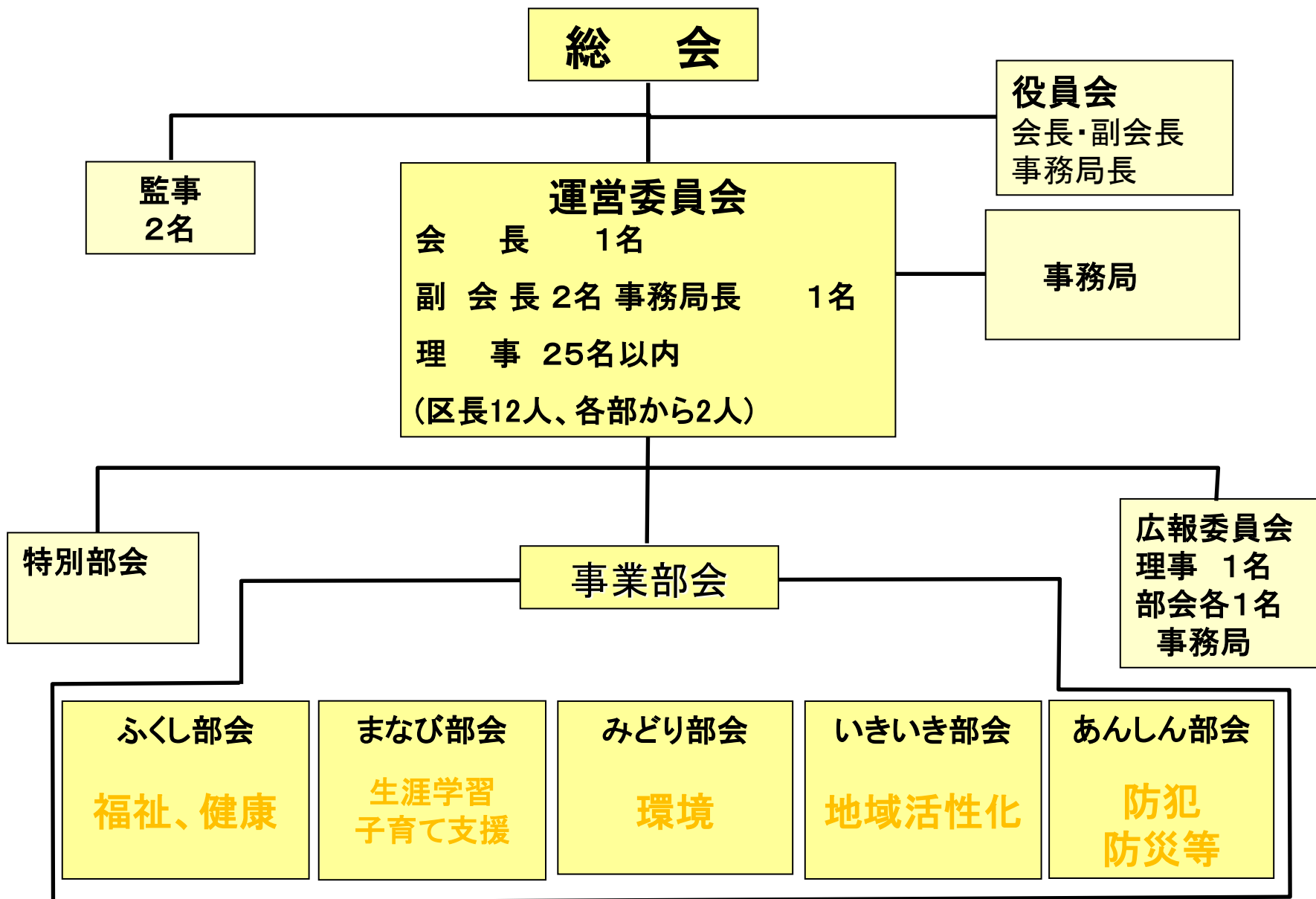
播但貫く 銀の馬車道 鉱石の道



JAPAN HERITAGE

日本遺産

いくの地域自治協議会組織体制



いくの地域 まちづくり 計画

IKUNO

鉱山文化を活かし、
人が輝くまち 生野

令和5年(2023年)5月 | いくの地域自治協議会



3 まちづくりの目標と活動理念

1) 地域まちづくり目標

朝来市生野町は、生野鉱山によって、歴史的建造物、祭りや風習、生活文化、言語、食事などの生野独特の文化が形成されてきました。改定する地域まちづくり計画では、地域に息づく鉱山文化の営みを次世代に継承し、持続可能な地域づくりに取り組むことをテーマに、地域まちづくりの目標を「鉱山文化を活かし、人が輝くまち 生野」とします。

2) 基本理念と行動指針

改定する地域まちづくり計画では、地域の強みである「人のつながり」や「結びつきの強さ」などを基盤に、「地域運営から地域経営へ」の視点に立って、活動に向けた基本理念と行動指針を示し、目標の実現に向けて地域ぐるみで取り組むものとします。

【地域まちづくり目標】

鉱山文化を活かし、人が輝くまち 生野

【基本理念】

借和（ひと共に和する）

【行動指針】

鉱山文化が育んだ生野の地域資源を活用し、課題の改善に向けて、具体的な行動を起こします。
それらを共に実践し、活動を積み重ねることで、人と人とがつながり、
人がいきいきと輝く地域づくりを進めていきます。

鉱山文化とは

生野地域の住民は、生野鉱山町に培われた鉱山文化を受け継ぎながら、鉱山文化に対して誇りをもって住み続けてきた。景観を次代に引き継いでいくことは、地域住民の営みが受け継がれることと不可分であり、住民が生活と地域の関係性を自覚的にとらえて、培われてきた生活を未来へ継承しようとする意識が求められる。



の積み重ねが
値を示す象徴
た地域の暮ら
一般的な構成
が重要である。
えていくことが、
ならない。

重要文化的景観「生野鉱山及び鉱山町の文化的景観」整備計画書より

□ 地域自治協の財源

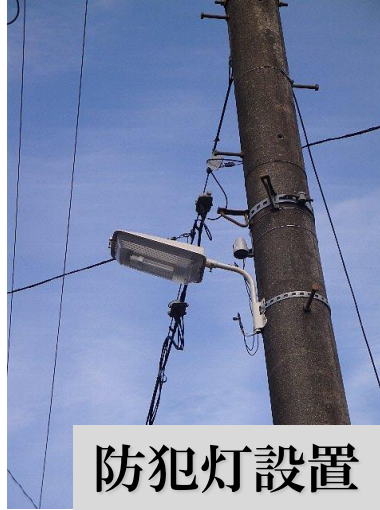
- ・朝来市からの包括交付金(事務局人件費を含む)
- ・地域住民1世帯あたりの会費 300円

いくの地域自治協議会の取組事業

◇ 区の自治活動への補助



ゴミ集積設備の新設



防犯灯設置



掲示板新設

◇ 市の施設管理受託事業



マインホール管理



公園の維持管理

みどり部会

○生野フラワーロード運動 寄せ植え

R4.6.4 70人



部会の活動

○ポケット広場「桜剪定講習会」

R5.3.12 10人参加



○中学校前河川清掃作業等

令和3年7月17日(土)

参加者20人



いきいき部会

○ ウォーキングトレイン
第1回R4.6.5 40人参加
第2回R4.11.13 30人参加



IKKの地域自治協議会いき部会
**令和4年度
ウォーキングトレイン参加者募集**
生野ミニバス会（要申し込み）
6月5日（日）
〔日程〕 小雨決行！
AM9:00 マインホール集合
AM9:10 マインホール出発（歩いて長谷へ）
AM11:30 長谷 到着予定（約10km）
昼食（各自持参をお願いします）
PM12:56 長谷駅出発 列車で生野へ

部会の活動



○ 銀谷祭りに合わせ播但線写真展
R4.9.1～R4.9.28まで
生野駅待合室



○ 令和5年3月
銀谷のひな祭り協賛
生野駅待合室展示



あんしん部会

○ 青色防犯パトロール講習会

R4.7.27開催

○ 毎月4回～5回の青パト巡回



部会の活動

まなび部会

◆ わが町を知ろう
令和3年11月14日(日)
～バスに乗って
黒川本村探索～



◆ オンライン実習
Zoom研修
令和4年3月15日(火)



子育て支援リサイクルバザー

「鉦山のまち 生野」

令和元年
地域おこし協力隊
を募集

アトリエや工房から始まる、
「unique」な「まちづくり」が
あってもええんちゃう。

ユニーク

IKUNO Craft Artisan
community-reactivating cooperator squad



来たれ!

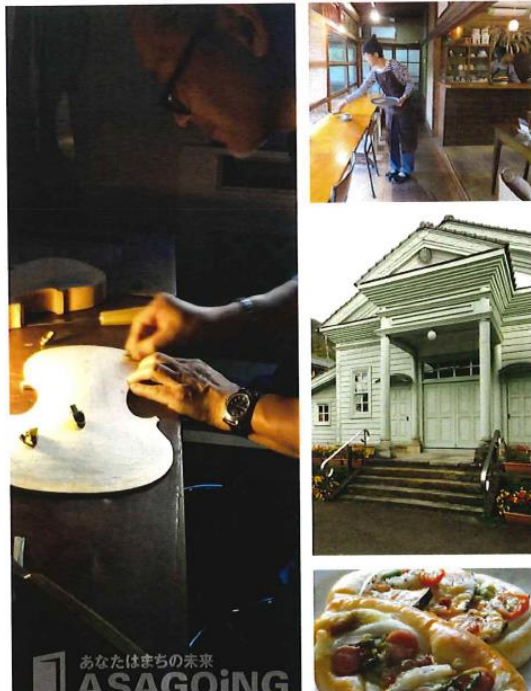
生野鉦山の

人と文化をつなぐ職人

兵庫県の谷あいにある小さな鉦山町、「生野」。

室町時代より、全国から多くの坑夫達が集まり、また明治時代は遠くフランスから多くの技師達がやってきて、文化・風土を育んできたまちです。昭和48年の閉山まで、多くのひとが行き交い、多くの物語が生まれ、美しいまちが形作られてきました。そして時代は令和。閉山以降の46年の間、町

並みや文化など「地域の宝」を守ってきたこのまちで、宝を活かして新しい産業の風を起こす「時代の匠」。地域おこし協力隊を募集します。



あなたほまちの未来
ASAGOING

兵庫朝来市(あさごし)

地域おこし協力隊

募集中

「鉱山のまち 生野」



旧鉱山職員宿舎
(甲社宅)
(志村喬記念館)



令和3年8月～4年3月
38組 104人



airbnb
4.9 ★

令和4年4月～5年3月
105組 286人

令和5年4月～5年9月
104組 257人

期間中の取り組み概要
Introduction of efforts for regional revitalization

国の文化財である「甲社宅」を活用し、昨年8月に、
「IKUNOSTAY」というゲストハウス事業がスタートしました。
これまでテレビにも取り上げられ、毎月予約が入っています。
関心を持ってくださる国内外の企業との橋渡しも進んでおり、
さらに需要の拡大を見込んでいます。



甲社宅生野ステイの取り組み

- ・ 令和2年8月レハン着任
- ・ 令和3年8月オープン
- ・ 令和3年度実績 38組104人
- ・ 令和4年6月～特別部会で協議
- ・ 令和4年12月自治協臨時総会
- ・ 令和5年1月30日創立総会



クリエイト生野（株）設立

- ◇いくの地域自治協議会72%出資
- ◇目的:創造性豊かで持続可能な地域づくりに資することを目的とする。
- ◇理念:「偕和の精神」で地域のために尽くす。



令和5年1月30日
クリエイト生野（株）創立総会



ゲストハウスのオープンに合わせて
地域おこし協力隊(レハン)が制作
令和3年8月YouTubeで公開

生野銀山坑道



宿泊＋体験(地
域遺産、自然等)

2025年関西万博
フィールドパビリオン
(兵庫県提唱)



1区公民館(旧生野警察署)



椎名集落活動センターたのしいな の活動について

高知県室戸市まちづくり推進課

集落支援員 川島 尚子

椎名集落活動センターたのしいな

高知県室戸市室戸岬町椎名地区（旧椎名小学校）

おとなりは「むろと廃校水族館」

運営母体：椎名集落活動センターたのしいな運営委員会

川島尚子

奈良県橿原市出身

北海道と神奈川県に居住歴あり

2014年家族で室戸市へ・夫は漁師

2017年より椎名集落活動センター

たのしいな集落支援員



現在



移住当時



椎名大敷組合

定置網漁業組合・雇用型漁師＝サラリーマン漁師
従業員約30名・椎名集落を支える基盤産業



椎名八王子宮秋季例大祭

高知県無形民族文化財 昭和40年指定
椎名の太刀踊り



今年も神事のみで復活ならず、、、



椎名集落活動センターたのしいな6本の柱のイメージ

①集いの場づくり

椎の実

集いの場

「ちいさな海のカフェ」

②健康づくり

げんきクラブはなもも

椎名いきいき

百歳体操など

⑤地元製品の販売

大敷組合

室戸春ぶりブランディング

③子どもの居場所づくり

たのしいなこどもクラブ

野外遊び・販売体験

消防団活動

椎名自主防災組織

しいなリバーボランティア

椎名海岸愛護ボランティア

しいな遊海くらぶ

イベント主催・出店
観光体験プログラム運営
ふるさと納税

④交流事業

たのしいな運営委員会

たのしいな文化祭
ピザ作り講習会・ピザ焼きイベント
敷地内の美観作業

⑥防災活動



椎名集落活動センターたのしいな組織図

地元団体等

椎名大敷組合

椎名消防分団

椎名常会

高知県漁協椎名支所

地元有識者

室戸市まちづくり推進課

展示物提供などの協力
求人紹介・産業紹介

委員として運営参加

報告・許可申請・フォロー
事業計画進捗の確認

むろと廃校水族館

椎名集落活動センター
たのしいな運営委員会

室戸市
ふるさと応援隊

イベント開催時の連携

支援・調整

活動の運営フォロー
参加・企画

運営委員会傘下の活動グループ

その他の椎名の活動グループ

しいな遊海くらぶ

たのしいな
こどもクラブ

げんきクラブはなもも

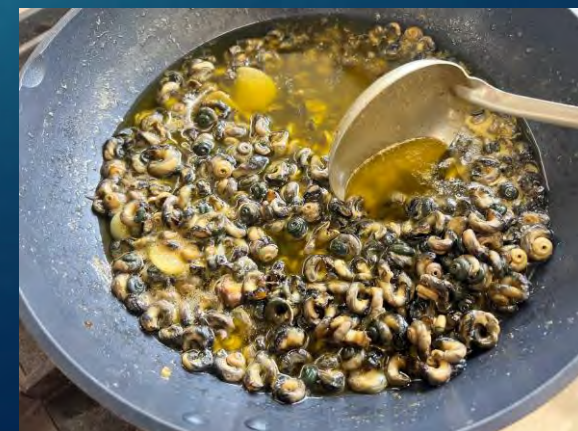
椎の実

なつかしいな
上映会実行委員会

しいなリバーボランティア
椎名海岸愛護ボランティア

椎名住民の活動参加による生きがい・やりがい・にぎわいつくり

たのしいな運営委員会 ピザ作り講習会・ピザ焼き体験イベント



たのしいな運営委員会 たのしいな文化祭

11月18日(土)・19日(日)開催決定
毎年2日間で約200名来場



椎の実 集いの場「ちいさな海のカフェ」



月一開催
約30名が来場



げんきクラブ「はなもも」 月2回 百歳体操・手芸・花壇作り



たのしいなこどもクラブ

椎名地区のこども会組織

「こどもたちが自分たちで決め自分たちで行動する
楽しいとこどもたちが感じる場」を目指す



椎名大敷組合主催「お魚まつり」

漁師と地域住民による出店
鮮魚・まかない汁・魚飯・干物・雑貨の販売



しいな遊海くらぶについて

椎名集落活動センターたのしいなを拠点に活動する地域団体

<室戸や椎名の魅力発信>

- ・漁業文化
- ・お祭りなどの伝統文化
- ・海辺の町の食文化や暮らしの知恵
- ・海辺に暮らす人の面白さ、魅力

<発信方法>

室戸に暮らす魅力を体験できるプログラム

食文化の提供

SNSでの情報提供・ファン作り

<メンバー>

椎名地区の漁業関係者

地域おこし協力隊・集落支援員



室戸の美味しい魚を知ってもらいたい



**室戸
春フリ**

BU LLI DOG

フリドッグ

フリのフライをホットドッグにしちゃいました

こだわり①
新鮮で脂の乗った
フリを手早く
フライに加工

こだわり②
今が旬!
室戸の小夏みかんと
新玉ねぎをトッピング

こだわり③
tomoshibiworksの
ピクルスも
アクセントに!

こだわり④
ミネラルたっぷり
室戸海洋深層水塩で
シンプルに味付け!



室戸の海山めぐるお魚ドッグ



海を楽しむ体験の受け入れやイベントの開催

